

# 兵庫県立洲本高等学校

モデルロケットを用いたクラブ活動の活性化及び地域貢献活動

## めざせ! 高度1000mのロケット

ロケット教室参加者が入部

小型の火薬ロケット「モデルロケット」でロケット研究を進めている兵庫県立洲本高等学校科学技術部は、2019年の第11回坊っちゃん科学賞で入賞を果たすなど、優秀な成績を取ってきた。

しかし、同部がロケット研究を始めたのは2018年度から。わずか1年半あまりでの急成長の原動力は、部員たちのやる気だ。初年度から缶サット甲子園などに参加する傍ら、地域の小中学生を対象にしたロケット教室も開催。今年度は、この教室に参加した新1年生（当時中学3年生）3人を含む11人の新入生が加わって部はさらに活気づいた。

部長で2年生の中野祐輝さんは「当面の目標である高度1000m到達に向けて、チームの結束は固いです」と話す。



科学技術部のメンバー



地域の小中学生を対象にロケット教室を開催



谷川先生を交え、さらなる高度の到達を目指す

手作りロケット、発射!



数値を綿密に検証中

実験の面白さを実感

大学で物理学を学びたいという中野さんは、「実験で予想した結果にならなかったとき、なぜそうなるのかを自分たちで掘り下げて再実験する、といったことは普段の授業では体験できないので、研究をしているという喜びがあります」と話す。顧問の谷川智康教諭も「最初は何もわからなかった新入生も実験を重ねると変わります。予測通りの結果が出るとは限らない実験の面白さを感じてほしいです」と願う。

今年度は、自作の風洞実験装置で各種実験に取り組み、現在は高度1000m級のロケット機体を開発中だ。実は今夏の打ち上げを予定していたが、エンジン火薬の輸入手続きが遅れている。それでも、逆に部員たちは「もっと実験をして入念な準備ができる」と前向きだ。「日本のロケット開発の父」糸川英夫博士ゆずりの「逆転の発想」は、ここにもしっかりと受け継がれているのだ。

(令和元年度個別助成)



●実施担当

谷川智康 教諭

●活動のモットー

生徒が自分たちで考え、活動するよう、私はサポートに回っている。研究や実験を通して継続性や忍耐力をつけ、うちの人生に活かしてもらいたい。

学校概要



旧制中学校として開校した、淡路島で最も歴史のある伝統校。野球部は春の選抜甲子園大会で全国優勝経験がある。

設立: 1897年

生徒数: 712人

所在地: 兵庫県洲本市上物部2-8-5

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。



公益財団法人

中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階

シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、幅広い助成事業を行っています。

中谷財団

検索